

令和8年度 大久保コミュニティセンター運営委員会（第1回）会議録

2026（令和8）年6月30日（火）午後3：00～

大久保ふれあいセンター 1階 大会議室

【委員出席者】 福西 満・宮本 智弘・山田 利美・岩田 淳・山崎 賢一・
堀ノ内 正廣・松井 一雄・川合 利彦・西田 佐徳・津田 奈穂子・
八尾 健治・福井 一夫・川合 康夫・北嶋 哲也・北嶋 廣雪・
榊岡 和則・岩田 弘子・薮ノ内 亜久里

【委員欠席者】 巽 信夫

【事務局側出席者】（企画戦略部副部長）木南 晃寿
（人権政策課長補佐）隅廣 直樹
（所長補佐）生川 亜希子（副統括）寺田 和政
（統括調整員）池畑 嘉晃（主査）尾関 克俊

【傍聴者】 なし

【議 案】 第1号 令和7年度事業報告について
第2号 令和8年度事業計画（案）について

1. 開会 委員総数19名、うち過半数の出席により運営委員会の成立を報告
2. 委員紹介
3. 職員紹介（新任職員のみ）
4. 委員長等選出 委員長 福西 満
副委員長 宮本 智弘
センター一部会長 北嶋 哲也
児童館部会長 山田 利美
5. 委員長挨拶・副委員長挨拶・センター一部会長挨拶・児童館部会長挨拶

(司会) それでは、議案に移らせていただきます。運営委員会規則第3条第3項の規定により、委員長が会議の長となり、議事の進行及び掌理するとありますので、これからは、福西委員長に進行をよろしくお願いいたします。

(議長) それでは、皆様方のご協力をいただきながら進行してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。それでは、議案に入ります。第1号議案「令和7年度事業報告について」事務局から報告願います。

(事務局) 【第1号議案 「令和7年度事業報告について」資料に基づき説明】

(議長) ただいま、第1号議案につきまして報告がありましたが、何かご意見・ご質問がありましたら、委員各位から賜りたいと存じます。

【意見等なし】

(議長) 質疑がないようでしたら、第1号議案につきまして、拍手をもってご承認をお願いいたします。

【拍手】

(議長) 次に進めます。
それでは、第2号議案「令和8年度事業計画（案）について」を事務局から提案願います。

(事務局) 【第2号議案 「令和8年度事業計画（案）について」資料に基づき提案】

(議長) ただいま、第2号議案につきましての提案がありましたが、何かご意見・ご質問がありましたら、委員各位から賜りたいと存じます。

(委員) 児童館の活動について、昨年度に比べて今年度いろいろなイベント等を積極的に開催されているということがすごくいいことだなと思って見させてもらいました。児童館に来ている子どもたちだけではなく学童へ通っている子どもたちも含めて、地域の子どもたちにこういう活動を周知してもらって、活

動を活発に行ってほしいなと思います。

そして児童館の話ではないのですけれども、昨今、地震・台風等が頻繁に起こっていて、災害が多発している現状下において、以前は大久保ふれあいセンターには耐震がなかったのですけれども、この立派な施設になって耐震化されていると思います。避難所としてこのセンターの位置づけを、新しい委員の方もおられるので共有したいと思いますので、どの様な位置づけになっているかを説明していただけたらと思います。

(事務局) 避難所につきましてですが、地震が起こった際、震度については改めて確認いたしますが、その時には避難所として開設いたします。

また、地域の災害状況を確認させていただいて、その状況によつての判断になるかと思うのですが、最終的には危機管理課の判断になりますので、センター独自の判断で開設するという形にはなりません。

市の判断でどこの避難所をどう開設していくかという判断を受けたときに、開設していく形になりますので、またその時に周知させていただこうと思います。

(委員) 皆さんが安心して生活できるような取り組みをしてほしいと思います。

(議長) ほかに、質疑ありませんか。

(委員) 児童館のことで少し質問したいのですが、古い資料なのですが、令和2年2月7日のセンター部会でふれあいセンターの耐震化とか、児童館の現状をどうするかとかという、資料があるのですが、児童館の建物自身がたぶんもう50年になっていると思うのです。令和2年度の時は、児童館機能を旧共同浴場の方に移管するという2つの案があったわけなのです。

現行そのまま使われるのでしたら、児童館の内部の写真もあるのですが、かなり古くなってきていると思うのです。

また、児童館部会の方で、お話をしなければいけないのですが、やはり外部もだいぶとひびも入っておりますし、特に子どもが遊ぶ場合、外部よりも内部の床や壁、照明設備などは新しく予算組をしていただいて、きれいにする。内部が出来上がってから、外部の傷んでいるところを修理してもらう。特にふれあいセンターが綺麗になりますと、どうしても横にある児童館が古

く感じてきますので、どういうお考えで運営されるか、少し教えていただきたいと思います。

(事務局) 児童館の耐震は大丈夫ということにはなっているのですが、確かに50年近くになりまして建物の老朽化が進んでいるというのが実感としてございます。施設の今後のあり方についてどのようにしていくのか、来館者数も実際減ってきているところもありますし、今、学童が1階を使っておられるという状況もありますので、市全体の児童施設のあり方、子どもの施設のあり方というものを見ながら、建物にどれだけ手を加えていくのかということを検討していかなければならない時期に来ているとコミュニティセンターの方では思っております。施設のあり方などをどのようにしていくのかに関しましては、児童館部会で相談させていただいて検討いただいたことを運営委員会でもご意見いただいてという形で進めていきたいと思っておりますので、その節はよろしくお願いいたします。

(議長) 今、児童館の意見がかなり集中しておられますが、それにつきましては児童館部会に委ねるという話になっておりますけれどもよろしいでしょうか。

【異議なし】

ほかに、質疑ありませんか。

(委員) 先ほど別の委員が地震のことについて言われていましたが、今までこの辺でマイク放送というものがされていまして。それをもう一度検討していただいているいろいろなときに町内だけですが放送できるように考えていただきたいと思います。

(事務局) マイク設備が壊れていることについては、数年前から相談があるとはお伺いしております。

町内放送設備がかなり古いものになっておりまして、現時点での機械を簡単に修理して使えると言われると、業者に見てもらったところ、修理は無理だとの回答を得ています。

そうなりますと放送設備の入れ替えをするのかという形になってきますので

予算が大きく関わってくる話になってまいります。

そのことにつきましては今後検討させていただく形になりますので、方向性が出ましたら皆さんにご報告させていただきます。

(議長) ほかに、質疑ありませんか。

(委員) 2026年のふれあいセンターの事業計画の13ページの中に「気候変動適応法に基づき、熱中症特別警戒アラートが環境省から発表された際に」と書いていますが、これはテレビで発表されるわけですね。

それに基づいて、大久保ふれあいセンターはクーリングシェルターに該当しているとのことなので、緊急時に開放して皆さんに避難してもらうとの内容について、詳しく平日なのかとか、時間とか、緊急時とはどのようなことをさすのか、アラートが発表されたら即避難していいのか、それかその中で緊急時というものを指定しているのかなど、その辺を分かりやすくペーパーにしていただければと思います。漠然とこの中に3行だけ書いているだけで済まさないでほしいです。

(事務局) おっしゃっていただきましたように、熱中症特別警戒アラートが発表された場合には直ちに大久保ふれあいセンターがクーリングシェルターとなりますので、こちらに避難していただく形になると思います。

その内容を皆さんに周知する方法としてふれあいセンターだよりの8月号に書かせていただいて各家庭に配布させていただくようにいたします。それでわからないことがありましたらいつでもセンターの方にお問い合わせいただけたらと思います。

(議長) センターだよりの方に書いていただきますようお願いいたします。

ほかに、質疑ありませんか。

質疑がないようでしたら、第2号議案につきまして、拍手をもってご承認をお願いいたします。

【拍手】

(議長) ただいまご承認をいただきましたので、配布しました「令和8年度事業計画（案）について」の（案）を消してください。

それでは、これで本日の「運営委員会の案件」はすべて終了いたしました。
すべての議事を委員の皆様のご協力により無事終了することができました。
有難うございました。
それでは、議事進行を事務局にお返しします。

(司会) 本日は、慎重なるご審議、貴重なご意見をいただきましてありがとうございます。
また、福西委員長におかれましては今回の委員会につきまして円滑に進行頂
きまして、ありがとうございました。

それでは最後に、企画戦略部 副部長の木南よりご挨拶申し上げます。

(副部長)

【 挨拶 】

(司会) 最後に事務局よりのご案内です。ご審議いただきました会議録につきまして
は、署名人の確認のうえ事務局でまとめまして、各委員の皆様にお送りさせ
ていただきます。本日は、ありがとうございました。

令和 8 年 7 月 17 日

会議録署名人 山田 利美

会議録署名人 岩田 弘子